

2008. 12. 22

松本城管理事務所研究室

今回は松本藩士出身人物、^{つじしんじ}辻新次・^{ふくしまやすまさ}福島安正・^{さわやなぎまさたろう}沢柳政太郎・^{きのしたなおえ}木下尚江についてお尋ねしますのでお答えください。

1、辻 新次（しんじ）は、藩校崇教館（そうきょうかん）で儒学を学び、洋学を志し、維新後開成所教授試補、大学助教授を経て明治5年（1872）校長となった。次の中のどこの校長となったか、一つ選びなさい。

- ① 商法講習所（一橋大学） ② 大学南校（東京大学）
③ 神戸高商（神戸大学） ④ 第四高等学校（金沢大学）



2、明治5年明治政府により学制が頒布されたが、この立案は主として辻によるものであった。明治13年（1880）文部大書記官、18年には文部大臣官房長兼学務局長、翌19年には文部次官となった。明治25年（1892）に免ぜられるまで25年間在職した。辻 新次は何と呼ばれていたか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 文部省の生き字引 ② 仮の文部大臣 ③ 文部省の神様 ④ 文部省の親方

3、松本藩士の子として生まれた福島安正は、どこの町で誕生したか、次のうちの中から一つ選びなさい。



- ① ^{しんまち}新町 ② ^{たまち}田町
③ ^{にまち}西町 ④ ^{はたまち}旗町

4、福島安正は、明治20年（1887）ドイツ公使館付武官となり、陸軍少佐であった。24年には任期が終了し、帰国するにあたり単騎遠征の計画をした。政府の許可を得て、25年2月11日ベルリンを出発し、愛馬の交代、夜の夜行、厳しい寒さ、落馬して負傷等の苦難を征服して、26年6月12日ウラジオに無事到着した。実に3500里、488日の横断であった。福島のは、国民の志気を奮いたたせた。に入る言葉を一つ選びなさい。

- ① 北極横断 ② 単騎シベリヤ横断 ③ アラスカ横断 ④ 中国横断

5、福島安正と幼少時代からの親友で、松本藩の藩儒（はんじゅ）を務め、比較的家も近くであった人は誰か。次の中から一つ選びなさい。

- ① 河原 忠（としな） ② 木下尚江
③ 沢柳政太郎 ④ 河原操子



